

瀬戸内タウンミーティング（玉津地区）

平成 23 年 11 月 16 日（水）19 時～21 時

玉津コミュニティセンター 大会議室

参加者：男性 14 人、女性 6 人、計 20 人

行政報告に対する意見と市長の回答

- ・先の台風で、浸水はしなかったが大土井地区の河川が氾濫した。千町川の改修工事を高助まで要望してもう 30 年になるが、大土井の辺りで止まっている。県には、ここで工事が仕切り直しということになれば次までにあと 10 年かかるといわれた。今回工事で一気にやってしまわないとダメだ。

（市長）県に十分な予算をとって早急にやってもらうよう要望しているが、引き続き要望していく。

（当初、高助の辺りまでの測量設計はできていたが、いつの間にか話がなくなっている模様）

- ・敷井に樋門ができて、用地買収は完了しているが、ポンプの設置の話はどこまで進んでいるのか。

（市長）あれも県の事業と聞いて思うが、まだ具体的な話は聞いていない。

- ・玉津小学校の統廃合の話が出たが、耐震補強工事の後に、統合問題については保護者と地域と話し合って進めていくということになった。今回統合に保護者が同意したということで、その後で地域に話があった。そういうやり方をしたのは非常に残念だ。

（市長）話の進め方として、コミュニティからは、「もう決まっているじゃないか」と言われたこともある。しかし一緒になって話をしても対立することは目に見えている。統廃合の話に関しては、保護者と地域ではやはり保護者が先、地域が後という流れにならざるを得なかった。当然残したいという気持ちはあるが、3 年間入学者が 1 名という状態が続くとわかっていて、そこへ行ってくださいとは言えない。最終的には教育委員会が判断することになる。しかし悲観ばかりしているわけではなく、あれだけの施設があれば知恵を絞れば何かできるのではないかと考えている。例えば、西粟倉村では廃校になった校舎を利用して、木を使って体験学習ができる、森の学校というものを行っている。

- ・玉津地区コミュニティ推進協議会が今の時代に即応していないのではないか、30代、40代が中心となったNPO法人がやる気を出して、玉津地区を外に発信していく、そういう時代ではないかと思う。3月までには意見をまとめていきたいと思っている。
- ・子供の通学について、バス代の補助だけでなく、自宅まで送り届けるスクールバスなど安心・安全を考慮した補助などで危険がないようにしてもらいたい。
- (市長)牛窓でデマンドバスを試験的に走らせる、うまくいけば他の地区でも、と考えている。他の地区でも同じような話はあるが、ここだけ特別になると整合性がとれなくなる。別の視点から考えていきたい。
- ・河川工事の関係でできた道路について、街灯が少ないのと、接続部分が急に細くなっていたりと安全性に問題がある。
- ・錦海の工場脇の敷井に抜ける道の街灯がずっと切れっぱなしである。市に問い合わせると、スポンサー灯なので市では対応できないと言われた。
- (市長)防犯灯をLEDに切り替える工事を行う予定である。その際に予算が余れば確約はできないが対応できるかもしれない。同様のところは他にもあるのでそれらとの調整が必要。
- ・錦海堤防の道の穴を埋めて良くなかったが、今度は車がスピードを出しすぎて困っている。
- ・小学校が避難場所となっているが、そこに通じる道の見通しが悪いので道路の拡幅をして欲しい。前川商店前のグレーチングが外れていてタイヤがはまったことがある。
- (市長)土木委員を通じて要望書を。
- ・堤防にやってくる釣り客のマナーが悪い。
- ・ボランティアで関所を作って通行料を取ってはどうか。

地域資源と活性化について、意見交換

錦海塩田跡地

- ・メガソーラーの話をよく聞くが、それだけでなく何種類ものものがあればいいと思う。ソーラーの電気で企業を持ってくるなど雇用の場になるようになれば良いと思う。
 - ・ソフトバンクにお願いしてはどうか。
 - ・潮風が吹くので、堤防沿いに塩害に強い防風林を植え、その奥で野菜のハウスをやる。
- (市長) 塩田については地元関係者と協議をしながら話を進めている。現在まで様々な提案をいただいているがその半分以上がメガソーラーの話である。比較検討していい話が見極める必要がある。
- ・農水省の試験場など国の機関を誘致してはどうか、企業だと当たりはずれが大きい。
 - ・このまま話が進まないようであれば、あまり来て欲しくないものでも呼ばなくてはいけないのでは。例えば競馬場、刑務所。
- (市長) 公営ギャンブルはどこも赤字である。刑務所ならあの広大な土地は必要ないだろう。来てもらった人に夢を与えるような利用を考えていきたい。

玉津小学校

- ・市立図書館にしてはどうか。そういう施設を分散させるのも手ではある。
- (市長) 施設は、日常のものと非日常のものに分けられる。病院や図書館などは日常の施設であり、そういったものはなるべく利便性の高いところ配置するのがよい。
- ・恐竜の化石を置いてはどうか。
- (市長) 博物館としてやっていくのであれば、建物の改装、周辺道路の整備、研究員の雇用等が必要になる。